

Title	昭和四十四年度史学科卒業論文題目；大学院修士課程卒業論文題目 早慶連合史学会・三田史学会大会；可児弘明氏渋沢賞受賞
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1970
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.42, No.4 (1970. 3) ,p.126(492)- 131(497)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19700300-0126

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

彙報

昭和四十四年度史学科卒業論文題目

国史学専攻

- | | | | |
|-------|--------------------------------|-------------------|----------------------------|
| 小宮 孟 | 捕獲対象魚の変化からみた漁撈活動の一侧面 | 高橋 秀子 | 藤原氏における政略結婚について |
| 本宮 護 | 亀ヶ岡文化の研究——その評価と問題点について | 上田千恵子 | 院政の起源に関する一考察——後三条天皇の |
| 桜井 澄夫 | 東北に於ける蝦夷地名の分布について | 田宮恵美子 | 安芸國巖島神社神主佐伯景弘について |
| 田井 暢子 | 北九州に於ける装飾古墳の諸問題 | 北川千沙子 | 信貴山縁起絵巻の出現をめぐって |
| 田中 昌志 | 上毛野氏の研究——大和朝廷への服属に關連して | 竹内 桂子 | 伴大納言絵詞 |
| 外山 真澄 | 奈良時代に於ける隼人統治について | 中西 規子 | ——とくに制作年代をめぐって—— |
| 星野 恵子 | 敦賀川舟座に関する一考察 | 瀬間 沢子 | 仏師雲慶の造像活動について——史料を中心として—— |
| 有馬 弘子 | シャクシャインの乱に関する一考察 | 澤布川洋子 | 傀儡子考 |
| 熊崎 啓子 | 大化前代の大伴氏 | 平安末期に於ける在地領主制について | 近世の伊勢御師に関する一考察 |
| 大野 操 | 住吉神の成立に関する一考察 | 広池千九郎と「中津歴史」 | ——東大寺領美濃国西郡庄—— |
| 辰巳 直子 | 賀茂県主の一考察——長岡平安遷都に於ける動向を中心として—— | 田口 友子 | 東国の在地領主制の形成について——千葉氏の場合—— |
| 柴田 利雄 | 古代に於ける母権制と招婿婚 | 富沢 清人 | 十二、十三世紀の美濃国大井荘における在地領主制の展開 |
| 内田さよ子 | 平安朝の図書寮別所紙屋院について | 田辺 紀子 | 鎌倉期丹波国大山庄における在地構造について |
| 月館 広美 | 尾張国郡司百姓等解文の成立に関する一考察 | 武田 忠利 | 信濃国高井郡志久見郷における開発と領主制 |
| 井戸由起子 | | 鷹野 澄江 | について
紀伊国阿氏河庄について |

成田 弘子	鎌倉幕府の社寺政策について
松本 恭子	中世都市鎌倉の諸問題
磯山 泰子	鎌倉時代における武士の神道信仰について
竹田谷由理子	鎌倉武士の主従道徳について
五味 幸子	御成敗式目の一考察
河野 紀子	執権政治の変質——得宗專制体制の確立過程 及びその影響——
渡辺 晴子	縁切寺について——鎌倉東慶寺法を中心にして
阿部 京子	農民の自治結合に関する一考察——近江国菅浦において——
稻井田百代	中世前半に於ける高利貸業の展開について
会田加代子	莊園制解体期における農民闘争の一形態 ——武藏国足立郡佐々目郷——
横山 光子	中世後期における農民闘争——備中国新見庄の寛正から文明期に至る闘争を通して——
可知 尚子	近世村落構造——特に抱を中心として——
須藤 治子	江戸時代松本平における「庚申講」について
帶屋 洋子	分散知行村に関する一考察——莊原郡碑文谷村を中心として——
石松久美子	改革組合村の考察
乙川 博士	越後国質地騒動
永倉 敬子	江戸時代の未解放部落——和泉国泉郡南王子村について——
平田 節子	遠島について——八丈島を中心として——
鈴木 典子	江戸末期における幕府の産業政策——関東木綿と江戸木綿問屋を中心にして——
柳田 公子	大正期ナルコサンジカリズムの意義と限界
丸山 陽子	青鞆社の活動
神保 欣世	前衛——日本に於けるその黎明期について——
青木 元子	吉田松陰の海外渡航に至る要因について
浅野 義之	慶應初年における薩英関係について
飯田 義之	「新論」に内蔵する青年志士への影響力
長 元子	水戸藩の尊攘思想と政争——明治維新への政治的構図をいだいて
井上 繁美	生麦事件の償金支払について
岩下 泰子	一橋慶喜の動向を中心にして
星野 清	和宮降嫁問題
中川 洋子	近世末期における尾西地方の編織物
愛宕 英子	井伊直弼と開国
小笠原利男	五ヶ条御誓文の性格
坂上 賢次	——主に政治的背景から——
沢田 潤一	尊皇攘夷思想に関する一考察——筑波山挙兵を中心として——
	薩摩藩精忠組に関する一考察——初期精忠組と久光挙兵上京について—— ロッシュの対日政策

- 稻田 節男 德川慶喜の幕政改革——軍政改革にみる慶喜の開明性について——
- 高橋 英昭 幕末日本の国際的環境——半植民地問題からみた日本と中国——
- 梅崎はる子 横浜鎖港問題の意義
- 遠藤みどり 山内容堂の大政奉還に果した役割
- 花沢 泰興 松平定信の白河藩治
- 伊井みつえ 蒲生氏郷の会津領国經營
- 桐島 千代 十六世紀後半都地方のキリスト教布教確立期について
- 近藤 和子 十七世紀初頭に於けるイギリス人の対日貿易について
- 茂呂 尚子 ノッサ・セニヨーラ・ダ・グラッサ号事件とオランダ人との競争をめぐって——
- 中村 研介 高杉晋作の政治意識
- 佐藤加寿子 江戸キリシタン史
- 玉木 晃 植木柄盛の民権論——『民権自由論』を中心として
- 豊村せつ子 『大東合邦論』にあらわれたる樽井藤吉の思想
- 志田 信子 イブン・イスマークの「予言者伝」について
- 滝口 夏実 ユダヤ人の民族的発祥からその王国形成まで
- 桜井 直子 泉州の外國貿易
- 杉本トヨ子 唐末における妓館——妓女とそれをめぐる人々——
- 渋谷 洋子 西トルキスタンにおける中世イスラムの時代様式
- 荒井久仁子 高昌とその支配勢力——前漢(武帝)より唐(貞觀)まで——
- 小川 初枝 ベトナムの仏教と焼身自殺
- 佐藤 紀子 亭と樹木崇拜と村落守護神
- 板山 俊彦 唐宋時代中国及び周辺の球技について
- 萩野 順司 一八〇〇年までの東インド会社の茶貿易について
- 山辺 昭夫 いわゆる「第一次国内革命戦争」期について
- 塩田 旭 一九二五—二七年の中国革命における労農運動の高揚と壊滅の過程
- 角田 朱美 康有為の生涯と大同思想——大同書の成立まで——
- 前嶋 順子 辛亥革命と華僑工作
- 牛越 和子 一八九一長江流域諸教案について
- 浅井 紀 中国の常平倉・義倉・社倉——天台治略を参考にして——

福田ひろ子 玉文化の盛衰とその产地について

西洋史専攻

青地 澄子

イギリス国教会成立とトーマス・クランマーの改革

浅野加寿子

イギリス革命におけるレヴェラー運動

中条 節子

解体前夜の英國修道院について

古川 恵子

ルターの政治理想

塙 裕子

コシモ・ディ・メディチの独裁に関する一考察

原 真知子

ギリシアの神託とその政治的意義(前五世紀)

家泉美恵子

パリ・コミューンとその意義

板倉 治子

トクビルのアメリカ連邦制度に対する見解

岩垂千鶴子

ワイマール共和国における再軍備

岩崎 紀子

メアリ・ステュアートの悲劇的生活について

泉 アキ子

ヒトラーと反ユダヤ主義

加藤 章子

ハンムラビ時代の王権と神殿

加藤美恵子

マキチュー・セツツの契約国家と神政々治

川井 敦子

ドイツ革命と独立社会民主党

川上ゆきえ

フランス人民戦線成立への道

岸本佳代子

シャルルマニエの戴冠式について

木谷 洋史

マリウスの兵制改革に関する一考察

小林 哲雄

スペインのアヌーキズム

小巻美津子

近藤 秀次

黒沢 勝

丸正 樹

松井 文子

三上はるみ

百田 瞳代

諸星智恵子

長岡 道子

中田とし子

中原百合子

野川 良子

小川 玲子

大上 裕子

小野久美子

大村 啓子

斎藤 純代

櫛原 信

ドイツ国家人民党の成立と党の性格
リソルジメントに関する一考察

ベートマン＝ホルヴェークの「九月綱領」に
関する一考察

ペンシルヴァニア植民地の建設について
文明論について

ブッカー・T・ワシントンとタスキギ運動
ヤコブ時代に於るフツガーハー家の展開

ルイ十四世の宗教改革と行政機構の改革
ケープ植民地に於ける英帝国主義の萌芽

ポピュリストの運動に関する一考察
ポルトガルの大発見時代に於けるジョアン二世

の海外発展政策

十八世紀初期におけるパルムアンの地位につ
いて

ルネサンス・ヒューマニズムとトマス・モア
マキャヴェリの思考に関する一考察

アメリカ合衆国の移民法の欠陥

テンプル騎士団の財政活動とその限界
農業問題とスペイン第二共和国

シベリア干渉とアメリカ外交

可児弘明氏　渋沢賞受賞

本塾文学部助手可児弘明氏、*“A General Survey of the Boat People in Hong Kong”* の著書

“A General Survey of the Boat People in Hong Kong”

Hong Kong, 1967.

の学術的功績によりて、昭和四十四年十一月、愛知県犬山市で開催された第二十三回日本人類学会・日本民族学会連合大会の席上、第五回渋沢賞を受賞された。

執筆者紹介

陳 荆 和

香港中文大学高級講師

慶應義塾大学言語文化研究所訪問教授

坂 口 昂 吉

慶應義塾大学文学部専任講師

伊 藤 清 司

同 同 助教授

米 田 治

同 同 助教授

坂 本 勉

大學院文学研究科修士課程

藤 井 昇

同 商学部教授

真 下 英 信

大學院文学研究科博士課程

会 田 倉 吉

慶應義塾歴史資料室室長